

数学の学習を進めるにあたって(1年生)

◇授業の進め方など

1. 習熟度別授業について

しばらくはクラスでの授業ですが、小学校の時と同様に、少人数による授業を行います。2クラスを定着、標準、発展の3コースに分け、1クラスを標準、発展の2コースに分ける予定です。1年間のなかで時間割が変わり、2クラスと1クラスはABCをローテーションしていきます。それぞれのコースの目標は、次の通りです。

定着 ・教科書の例題と問を中心に授業を行います。

・教科書の基本問題が解ける、章の問題Aを解こうとすることを目標とします。

標準 ・教科書の例題と問と基本問題を中心に授業を行います。

・問題集やプリントなどを利用して練習問題を増やします。

・教科書の章の問題Aが解ける、章の問題Bを解こうとすることを目標とします。

発展 ・教科書の内容の確認の後、練習問題に取り組みます。

・教科書の章の問題Bが解けることを目標とします。

・発展的な問題にも取り組める、考え方の過程を発表できることを目標とします。

2. 授業の持ち物、心得などについて

- ① 基本的な持ち物は、教科書、ノート、問題集、ファイルです。単元によって、定規、コンパスなどが加わります。授業に必要な持ち物ですから、忘れないようにしましょう。
- ② 授業中は集中して取り組みましょう。考え方や解き方などをきちんと理解する大切な時間です。家庭学習を充実させるためにも、授業でどれくらい理解できたかは重要なポイントです。
- ③ 授業中に自分が出した答え、考え方は積極的に発表しましょう。授業は正解だけをやりとりする場ではありません。自分の考え方のミスに気づくのはもちろん、他の人の考え方についても学びます。自信がなくても、恥ずかしがらずにがんばってください。
- ④ 提出物はきちんと期限を守りましょう。期限に遅れると、大幅な減点となる場合、さらには評価の対象にならない場合があります。
- ⑤ 問題集の提出は、定期テスト前や2、3学期の始まりに設定する予定です。ノートやプリント類などの提出については、授業担当の先生の指示にしたがってください。
- ⑥ 問題集の取り組みもノートも、自分が取り組んだ過程(途中式など)を残しましょう。振り返った時に、自分自身の理解度をつかむための大切な材料です。
- ⑦ プリント類を使用することがあります。小テストや単元のまとめのプリントなど、様々な内容になりますが、すべてファイルにとじましょう。単に授業の説明(黒板の内容など)に関するプリントならば、それはノートに貼って学習内容を整理します。担当の先生の指示にしたがってください。
- ⑧ 授業の学習内容がわからなかった場合、早めに質問をして解決していきましょう。

◇家庭学習の進め方について

1. 家庭学習の定着

- ① 学習したことを復習する習慣をつけましょう(宿題を出す場合もあります)。
- ② 授業で解いた問題を確認し、何度も解きなおきましょう。問題集を利用して、教科書と同様の問題にも取り組みましょう。繰り返して取り組むことで、理解度が上がります。

2. 定期テストへの取り組み

- ① 教科書、ノート、問題集が大切な学習材料になります。基本的な解き方、考え方を見直して、自分が理解できているかどうかを確認します。ページ、項目、問題ごとに、できるかどうかを把握しないと、効率の良い取り組みができません。
- ② 理解できていなかったところは理解できるように、理解できていたところは自信がもてるように取り組みましょう。
- ③ 教科書の章の問題、問題集の単元のまとめなどは、時間を意識して取り組んでみましょう。

◇学習予定について

月	単元 学習項目	月	単元 学習項目
4	第0章 算数から数学へ 整数の性質	10	第5章 平面図形 図形の移動 基本の作図 期末考査
5	第1章 正負の数 正負の数 加法と減法 乗法と除法 正負の数の利用 中間考査	11	第6章 空間図形
6	第2章 文字と式 文字を使った式 文字式の計算 文字式の利用 期末考査	12	いろいろな立体 立体の見方と調べ方 立体の表面積と体積 学年末考査
7	第3章 方程式 方程式とその解き方 利用 比例式	1	第7章 資料の散らばりと代表値
8		2	資料の散らばりと代表値 近似値と有効数字
9	第4章 比例と反比例 関数 比例 反比例 中間考査	3	1年間の復習

◇評価について

今年度の学習活動の様子を、次の3つの観点で評価していきます。

- ①知識・理解 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

※ 観点の①、②については、主に定期テストで評価します。観点③については、授業での様子、ワークシートなどの内容を中心に評価します。